

春のイベント

みんなで参加しよう!

マンスリー企画展示

エコパルなごやでは、環境問題に積極的に取り組んでいるNPOや企業、学校などの活動を「マンスリー企画展示」として、月替わりで紹介しています。

※出展予定は、変更となる場合がありますので、ご了承ください。

3月 出展者：なごや環境大学
出展内容：19年度の活動報告と20年度の活動について

4月 出展者：未定
出展内容：未定

5月 出展者：ユニー株式会社
出展内容：ユニーの環境への取り組み紹介、環境クイズ等



マンスリー企画展示への出展者を募集しています

私たちこんな環境にやさしい行動をしています!環境についてもっと考えて欲しいな...など情報発信をしていきたいと考えられている方を募集しています。NPO、企業など形態は問いません。詳しくはエコパルなごやまでお問い合わせ下さい。



常設企画展示

ムーシアムとのタイアップで、2か月ごとに季節にちなんだ色々な虫たちを紹介していきます。お楽しみに!

名古屋市生活衛生センター ムーシアム

千種区若水1-2-33 TEL052-721-0191
開館時間/午前9時30分～午後4時30分 休館日/月曜日・祝日

「環境省こどもエコクラブ」

参加者募集

幼児から高校生までだれでも参加できる「こどもエコクラブ」。身近な地域のなかで、仲間と一緒に活動するクラブです。生き物調査や空き缶のリサイクルなど、みんなができる環境にやさしいことを考えて活動します。参加クラブには、環境の情報がのっているニュースレターなどを差し上げます。

【エコクラブに入るには】

- まず数人～30人くらいの仲間を集めよう。(市内在住の幼児～高校生)
- みんなの活動を手伝ってくれる大人のサポーターを決めよう。
- エコパルなごやで登録用紙をもらおう!

【申し込み方法】

登録用紙に必要な事項を記入して、エコパルなごやまでお申し込みください。

【しめ切り】

とくにありません。いつでもどうぞ。

名古屋市リサイクル推進センター

名古屋市リサイクル推進センターは、不用品の交換をすすめたり、3R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)に関する図書を出したり、みなさんが3Rを進めるためのいろいろな手助けをしています。

所在地 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11-15先 地下鉄上前津地下街 アクセス 地下鉄「上前津」駅 名城線北改札口を出てすぐ
電話 052-251-5300 FAX/052-251-5308
E-mail recycle@ppp.bekkoame.ne.jp URL http://www.nagoya-recycle.or.jp/
開館時間 午前10時～午後6時
休館日 毎週月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

エコパルなごや 春号 VOL.46

かんきょうをたのしく学ぶ

特集

外来生物について考えよう!

～外来生物が在来生物を襲う!…生物多様性を守るために～

みなさん!外来生物って知ってますか?

ブラックバス、アメリカザリガニ、ホテイアオイ…聞いたことがあるかな?

これらの生き物は、もともと日本に住んでいない、

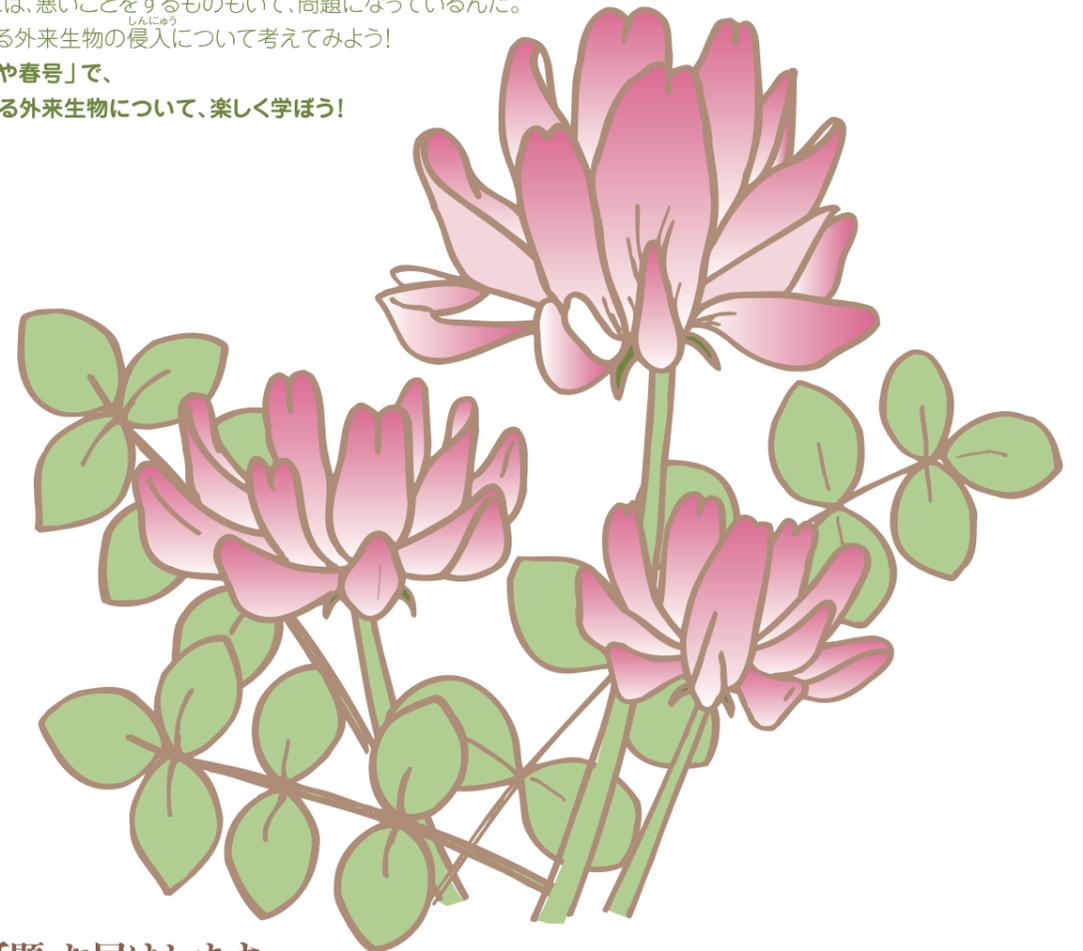
外国からやってきた生き物たちなんだ。

外来生物の中には、悪いことをするものもいて、問題になっているんだ。

身のまわりにいる外来生物の侵入について考えてみよう!

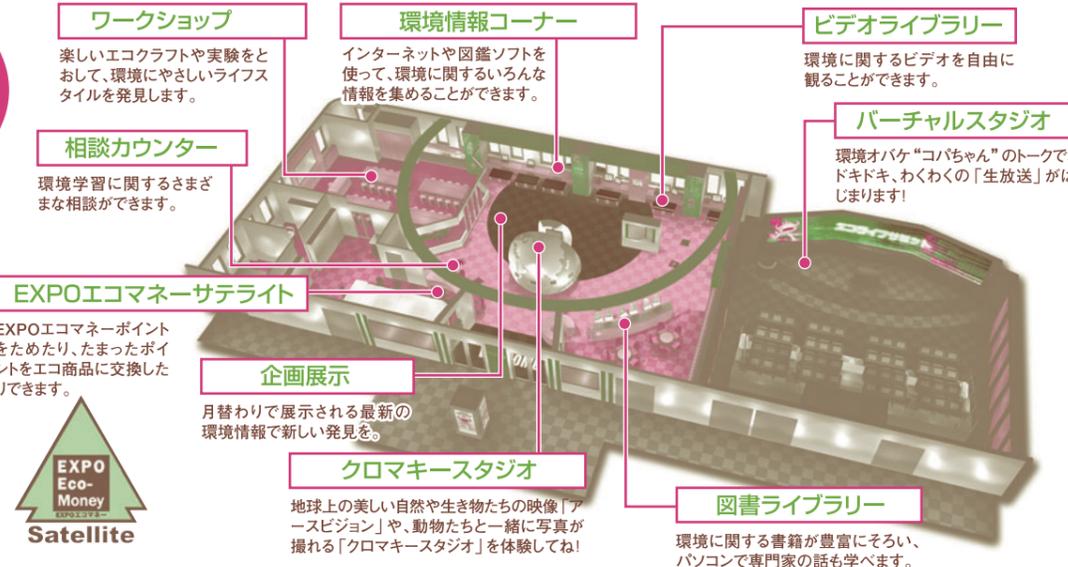
「エコパルなごや春号」で、

身のまわりにいる外来生物について、楽しく学ぼう!



名古屋環境学習センター エコパルなごや 紹介します

エコパルなごやは、ゲームやクイズ、工作など、いろいろな体験をしながら、環境にやさしい行動へのきっかけをつくる場所です。社会見学や団体行事など、環境学習の機会にエコパルなごやをぜひご利用ください。もちろん個人でも自由に入れます(入館は無料)。
※団体予約など、くわしくはエコパルなごやまでお問い合わせください。



名古屋環境学習センター 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ13階 (地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅6番出口徒歩5分)
■開館時間/午前9時30分～午後5時 ■入館料/無料
■休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)、年末年始(12月29日～1月3日)

お問い合わせ TEL 052-223-1066 FAX 052-223-4199

http://www.ecopal.city.nagoya.jp/ E-mail: a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp



この情報誌は古紙/リサイクル配合率70%・白色度70%の再生紙を使用しています。



いろいろな話題、お届けします。

特集

外来生物について考えよう!

～外来生物が在来生物を襲う!…生物多様性を守るために～

なごや環境大学 なごや環境大学ガイドブック、なごや環境ハンドブックの紹介
エコパルNEWS 図書ライブラリーの紹介

外来生物について 考えよう!

知る

外来生物って何?

野生生物は、気候や地形などの条件によって生息できる地域が制限され、地域ごとに特色を持った生態系が形づくられているんだ。カミツキガメのようにもともと生息することがありえない地域に、ペットとしてまた荷物にまぎれこむなど人の行動によって持ち込まれ、本来の移動能力を超えて移動させられた動植物のことを外来生物と言うんだ。これには「海外から日本に持ち込まれた生物」だけを指すものではなく、日本国内であっても気候的、地形的に相互に隔てられ、独自の生態系が形づくられている場所では、その地域以外の生き物は、たとえ国内に生息環境がある種でも互いに外来生物となり、影響が生じることがあるんだ。

何気なく飼っているペットも外国から来たものが多い。その数は、2004年だけで6億4千万余匹(財務省貿易統計)にもなり、ペット用カメは年間70万頭が輸入されている。その外来生物が野外に捨てられたら、生物多様性は失われてしまう。日本の外来生物の定着状況はおよそ2,300種。飼主一人ひとりが外来生物の扱いに注意し、日本の自然を守ろう!

外来生物の定着 どのくらいいる?

動物、植物を含め、現在、日本には、明治時代以降に日本に入ってきたものだけでおよそ2,300種の外来生物が定着していると言われるんだ。こうした外来生物のなかには、私たちの生活の中で身近な生き物として親しまれているものもあるんだよ。

例えば、縁日などでよく見かけるミドリガメは、正式和名を「ミシシippアカミミガメ」といい、1950年代以降にアメリカからペットとして輸入された生物で、日本に固有のものではないんだ。また、釣り魚として有名なオオクチバス(ブラックバス)も外来生物なんだよ。植物では、私たちの食料に欠かせないジャガイモやネギも、もとは外国から入ってきたもので、都市部で見かけるタンポポの多くも、セイヨウタンポポという外来生物なんだ。

このほかにも、ペットの飼育や漁業、農業のために導入された種、害獣や害虫などを駆逐する天敵として導入された種など、私たちのまわりには、さまざまな外来生物が存在しているんだ。

(身近にいる主な外来生物一覧表参照)

身近にいる主な外来生物 動物

分類	外来生物名	原産地	導入経路・被害など
哺乳類	アライグマ	北アメリカ	捨てられたペットが在来生物や農作物を食害。
	ヌートリア	南アメリカ南部	1939年、毛皮用として輸入。稲や大麦、野菜などに対する食害、絶滅危惧種のベッコウトンボの生息地を壊滅させるなど生態系への影響が深刻。
	ジャワマンゲース	西アジア・インド	1910年、ハブの天敵(沖縄本島)として導入。絶滅種を食害。
	チョウセンシマリス	朝鮮半島	エゾシマリスの遺伝侵食。
	タイワンリス	台湾南部原産	樹皮の剥離や農作物を食害。ニホンリスとの交配や競合。
	ハクビシン	中国～東南アジア	毛皮用、愛玩用。
	アカゲザル	中国～西アジア	房総半島定着、ニホンザルとの交雑。
	タイワンザル	台湾	動物園から逃げ出し野生化、農作物の被害、遺伝的かく乱。
	カニクイザル	インドネシア、フィリピン	在来生物の捕食や遺伝的かく乱、農林水産業への影響。
	チョウセンイタチ	朝鮮半島	1930年頃、毛皮用。

身近にいる主な外来生物 動物

分類	外来生物名	原産地	導入経路・被害など
爬虫類	カミツキガメ	北アメリカ	捨てられたペットが野生化、生態系・人への影響
	ミシシippアカミミガメ(ミドリガメ)	北アメリカ	捨てられたペットが野生化、ニホンイシガメ、クサガメを制圧。
両生類	ウシガエル(食用ガエル)	アメリカ、カナダ、メキシコ	食用として養殖された個体が逃げ出し、世界中に定着。環境の変化に強く、在来生物を捕食。
魚類	オオクチバス(ブラックバス)、ブルーギル	北アメリカ	淡水魚への影響(絶滅の危機)。
	カダヤシ	北アメリカ	ボウフラを捕食し、水質浄化に役立つとして世界各地に輸入。
クモ類	セアカゴケグモ	オーストラリア	人の生命に影響する猛毒を持つ。
甲殻類	アメリカザリガニ	北アメリカ	ニホンザリガニ、ヤマトザリガニの巣穴を奪う。
昆虫類	モンシロチョウ	大陸から来て定着	奈良時代に大根の栽培と共に移入。
	アルゼンチンアリ	南アメリカ	輸入木材の中に巣食っていた一群が分業して上陸した可能性が大。1993年に広島県廿日市市で初めて採集。攻撃性が強い。愛知県でも生息を確認。

※(注) 外来生物名の太字は特定外来生物を指す。

身近にいる主な外来生物 植物

分類	外来生物名	原産地	被害など
植物	セイヨウタンポポ	ヨーロッパ	日本タンポポの減少、帰化植物、雑種の問題。
	ボタンウキクサ(ウォーターレタス)	南アフリカ	金魚や熱帯魚用の水草。河川、水田等で繁茂し水面を覆い、植物の光合成を阻害し、水質悪化等を招く。
	ホテイアオイ	南アメリカ	帰化植物、金魚や熱帯魚用の水草。
	オオキンケイギク	北アメリカ	繁殖力が強く、各地で野生化しており、生態系への悪影響。
	アレチウリ	北アメリカ	河原などで増え、その植物に大きな影響を与える。
	ブラタナス(スズカケノキ)	小アジア地方(トルコ共和国相当地域)	スズカケノキ科スズカケノキ属の総称。
	セイトカアワダチソウ	北アメリカ	帰化植物、ススキなどの在来種と競合。
	ヒガンバナ(マンジュシャゲ)	中国から伝来	帰化植物、種子で、増えない。
	レンゲソウ	中国	帰化植物、日本の春の風物詩。
	イチヨウ	中国	針葉樹、雌雄異株、街路樹など。
	シロツメクサ(クローバー)	ヨーロッパ	16世紀後半に日本に渡来した帰化植物、当初は牧草として栽培、その後野生化。

※(注) 外来生物名の太字は特定外来生物を指す。

考える

外来生物はどのようにして入ってきた？

外来生物が、本来生息することがありえない地域に人の行動を介して持ち込まれるには、ペットや家畜、緑化や園芸、漁業、害虫の天敵などの目的で国内に導入され、野外に放されたり、飼育していたものが逃げ出したりして棲みついたものなんだ。それから、植物の種子や昆虫などの小さな植物、寄生虫のように、人や物が移動するときに、付着して他の地域に棲みついたものがあるんだ。

どんな影響がある？

日本の自然環境が危ない！

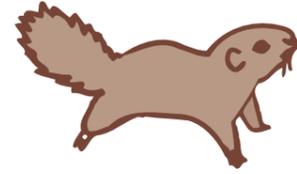
外来生物が及ぼす影響は、その地域に天敵などの生物がいないため、短い期間に大量に繁殖し、在来生物を捕食することなんだ。その結果、生物相が均質になり、また遺伝子汚染の原因となるなど、生態系に大きな影響

を与え、地域の生物多様性が失われることになるんだ。一つの種が生まれるには、数万年～数十万年の時間を要するといわれているんだ。そうした貴重な種の誕生が、外来生物が及ぼす影響によって、ほんのわずかな間に地球上から消し去られることになってしまうんだね。

また、毒を持っていたり、人をかんだり、刺したりするなど人の生命・身体への影響、さらには農林水産物を食べたり、畑を踏み荒らすなど農林水産業への影響もあるんだ。こうした外来生物の定着が、近年、大きな問題として注目を集めているんだね。中でも定着しているか否かに関わらず、地域の自然環境などに大きな影響を与え、生物多様性をおびやかすものを侵略的な外来生物といい、沖縄や奄美大島に持ち込まれたマングースや小笠原諸島のグリーンアノール(小型のトカゲで昆虫などを捕食)などの例があるんだ。

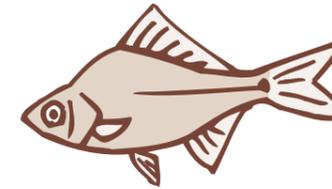
※ 侵略的とは=本来の生息地ではごく普通の生き物として生活していたものでも、たまたま、導入された場所の条件が、大きな影響を引き起こす要因を持っていること。

競争による抑圧、競合



台湾リス

台湾南部原産のリスで、樹皮の剥離や農作物の食害を引き起こす。ニホンリスとの交配や競合。



オオタナゴ

中国、朝鮮半島、ベトナム北部原産。ペット由来、種苗に混入、二枚貝に混入?イタセンパラ等との交雑のおそれあり。



オオブタクサ

競争力が強く、農耕地や空き地に群生し群落内の光を遮ることで、植物の多様性を著しく低下させている。

セイタカアワダチソウ

北米北東部原産。成長が早く空間占有率が極めて大きいので、群生地では絶滅危惧種のフジバカマなどの在来生物を駆逐。



ホテイアオイ

熱帯アメリカ原産。暖地の池、水田、水路などに繁殖し、水の流れを妨げたり、水中に届く日光を遮断することなどから、害草とみなされている。



外来生物が引き起こす問題には何がある？

捕食による影響



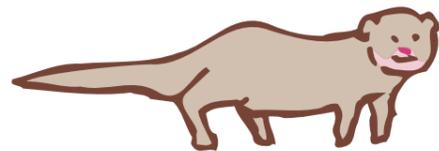
ソウギョ

中国長江に生息する大型淡水魚。食料対策として野尻湖と本栖湖に導入された結果、湖の水草が絶滅。



アライグマ

ペットとして導入後、遺棄。摂食による農作物被害、在来種との競合。



ジャワマングース

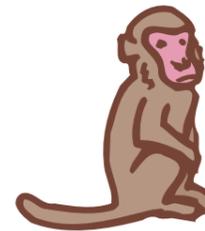
ハブ対策として沖縄・奄美大島に導入。絶滅危惧種のヤンバルクイナ、アマミノクロウサギ、トゲネズミなどを捕食、駆逐。



オオクチバス(ブラックバス)

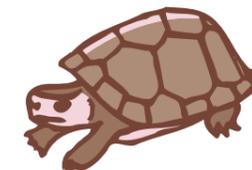
フナなどの淡水魚のみならず、トンボなどの水生昆虫も無制限に捕食、生態系への深刻な影響。

交雑-純系の喪失



台湾ザル

動物園等が遺棄-野生化し全国に群れを作っている。在来のニホンザルとの交雑。



セマルハコガメ

台湾と中国に分布する特異なリクガメ。天然記念物リュウキュウヤマガメと交雑。生態系や遺伝的な個体群のかく乱が問題。



タイリクバラタナゴ

原産地は中国の揚子江流域や朝鮮半島南西部。1942年頃、国民の食料不足を補うために中国から輸入されたソウギョやハクレンに混じって日本に入る。在来種であるニッポンバラタナゴは絶滅の危機。

寄生生物による感染

蚊、ねずみ

それまでの場所に存在しなかった他の地域の病気や寄生性生物を持ち込む。(西ナイル熱ウイルス、エボラ熱、マラリアなど)



守る

日本の自然環境を未来にのこすために

こうした外来生物による被害をなくしていくためには、まず、外来生物をむやみに日本に持ち込まないことなんだ。次にペットとして飼う際には、その生物の特性をよく知り、しっかりと自分で飼育できるかを考え、手に負えなくなったからといって野外に捨てないこと。三

つめには、野外にすでにいる外来生物は、他の地域に拡げないことなんだ。こうした当たり前の行動が、貴重な生命を保護することにつながるんだね。

自然が長い時間をかけてはぐくんできた生態系のバランスを損なうことのないよう、十分注意しましょう。

わたしたちにできること

環境省は、「外来生物法」の制定とともに、「外来生物被害予防三原則」を指針とし、一人ひとりが守るように呼びかけている。

- 1 入れない** 外来生物をむやみに日本に持ち込まない!
- 2 捨てない** ペットが成長した後のことも考えよう!
- 3 拡げない** 野外にすでにいるものは他地域に拡げない!

責任ある行動をおこそう!

「外来生物法」は、外来生物による人間生活や生態系への悪い影響をなくすために定められたものなんだ。外来生物の問題は、日常生活と深くかかわっていることから、一人ひとりの責任ある行動が求められるんだ。

もともと海外に生息していた外来生物で、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの又はそのおそれがあるものの中から指定したものを特定外来生物というんだ。これは、飼育／栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入の他、野外に放つ、植える、まくことも原則として禁止しており、違反した場合は、内容によって非常に重い罰則がかせられるんだよ。

「特定外来生物」は、生きているものに限られ、個体だけでなく、卵、種子、器官なども含まれているんだ。でも渡り鳥や、海流に乗って日本にやってくる魚、植物の種などは、自然の力で移動するものなので、外来生物にはあたらないんだね。

現在、特定外来生物に指定されている種は、第一次から第五次にわたり、96種類が指定されているんだ。

※ 外来生物法＝正式名称「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」



扱う人の意識の問題

外来生物の問題は、人の行為によって引き起こされているんだ。例えば無責任な飼い主が、ペットとして飼っていた外来生物を遺棄し、外来生物が野生に定着してしまうと在来生物を駆逐してしまうんだ。もとの環境に戻すためには、大変な労力が必要になるんだよ。

外来生物による被害をなくし、生物の多様性を守っていくためには、私たち自身が、多様な在来生物が住む、バランスのとれた自然環境を守る意識を高めることが大切なんだよ。

思わぬ被害実態・耳を傾けよう!

子ガメ「ミドリガメ」

親ガメ「ミシシippアカミミガメ」

ミシシippアカミミガメと聞いてもピンとこない人も、「ミドリガメ」と聞けば緑色の露店やペットショップなどで売られていたと気づく人は多い。人気者だったミドリガメも、ふ化して二年目ごろから緑色は消え、気性も激しくなり、当初のかわいさはうすれ、持て余した飼い主は無責任にも捨ててしまう。こうして野放しにした結果、野生化が進み、どこの水辺を見てもアカミミガメだらけになってしまったのだ。

日本のイシガメはどこへいってしまったのだろうか。このような飼育の放棄が、水辺の在来生物の生態系を脅かしているんだ。



つながるエコ、ひろがるハッピー

なごや環境大学



Come and join us at the Nagoya Open University of the Environment!

なごや環境大学 ガイドブック2008春

この春で4年目を迎える「なごや環境大学」では、今年度も「まちじゅうがキャンパス」を合言葉に名古屋市域の各所で幅広い分野の講座を展開していきます。

配布場所 エコパルなごや
リサイクル推進センター
区役所・支所、図書館 など



なごや環境ハンドブック

地球環境問題から名古屋の環境問題まで学べる、「環境ハンドブック」の改訂版が完成しました。

エコパルなごや、ジュンク堂書店名古屋店(中村区)、名古屋市立大学生協などで1冊1,500円にて販売中です。(なごや環境大学の受講生は1,300円に割引!)

お問い合わせ先

なごや環境大学実行委員会事務局(エコパルなごや内)
TEL/FAX 052-223-1223 e-mail: jim@n-kd.jp
なごや環境大学ウェブサイト
<http://www.n-kd.jp>



エコパルNEWS

図書情報

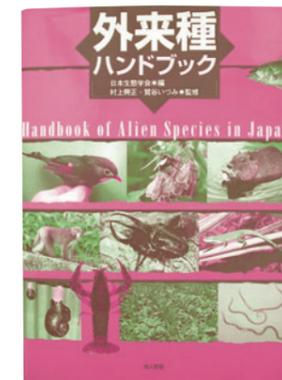
ライブラリーからこんにちは

■特集テーマ関連図書の紹介

「外来種ハンドブック」

日本生態学会編 他人書館

人間活動によって地球の生態系が取り返しのつかないほどの影響を受けている。生物多様性の喪失は、最も重要な問題の一つである。その最大の脅威の一つに外から侵入して拡がる外来種問題がある。本書は、こうした観点に立って、約160名の専門家が執筆し取りまとめ、150種以上に及ぶ外来種事例はもとより、外来種問題の現状と課題について述べた総合的なハンドブックである。



環境に関する約3,000冊の書籍が整う図書ライブラリー、パソコンを使って書籍やビデオを探したり、映像による専門家の講義を受けることができる環境ショートレクチャーなどが体験ができます。ぜひ、ご利用ください!

図書・ビデオ貸出のご案内

初めてご利用される方には、「図書利用者カード」を発行します。名古屋市在住、在学、在勤の方なら、どなたでも登録できます。詳しくは、エコパルなごやまでお問い合わせください。

種類	数	貸出期限
図書	1回につき2冊まで	2週間
ビデオ	1回につき1本	1週間